【埼玉県】

大妻嵐山高等学校
キャリアスタディ同好会

高校生ボランティア・アワード2025

「SDGs達成に向けて」

SDGsに関する諸問題について、全校生徒や地域の子どもたちに考えてもらうきっかけを作っています

・ミャンマー大地震　募金
ミャンマーについて知るため、ミャンマーの基本情報や難民問題についてディスカッションやプレゼンテーションを行った
ミャンマーで起きたミャンマー大地震に向けて学校全体で募金活動を行った

・児童労働問題
スマイルカカオ (児童労働撤廃に取り組むカカオ農園で作られたカカオ)率100%を目指す有楽製菓に訪問し、プロジェクトについて話を直接聞いた
文化祭にてインタビュー内容の展示、およびブラックサンダーを販売。
→売り上げ金を児童労働問題に取り組む非営利団体に募金

・江ノ島　マイクロプラスチック調査
海に行ってマイクロプラスチックを拾った
→マイクロプラスチック問題について理解を深めるため、海岸の現状を調査

・ウォーターサーバーの設置
校内から排出されるペットボトルゴミ０を目指し，2年間に渡りウォーターサーバー設置を先生方に訴えた
マイボトル週間を設定したり、全校生徒にアンケートを取るなど、ペットボトル飲料を買わない学校生活について学校全体で考えてもらった

・エコバック制作
プラスチックゴミ削減のために学校説明会で使用するバックをエコバックに変更
全校からデザインを募集して、エコバックについて考えてもらうきっかけにした

・海プラに関する映画の上映と、監督との対談
アメリカの子どもたちがマイクロプラスチック問題について活動するドキュメンタリー映画『マイクロプラスチックストーリー ぼくらが作る2050年』を全校に上映
作中で紹介された内容をクイズなどにして、さらに理解を深めてもらった
監督ともzoomで対談し、その内容も上映会で共有した

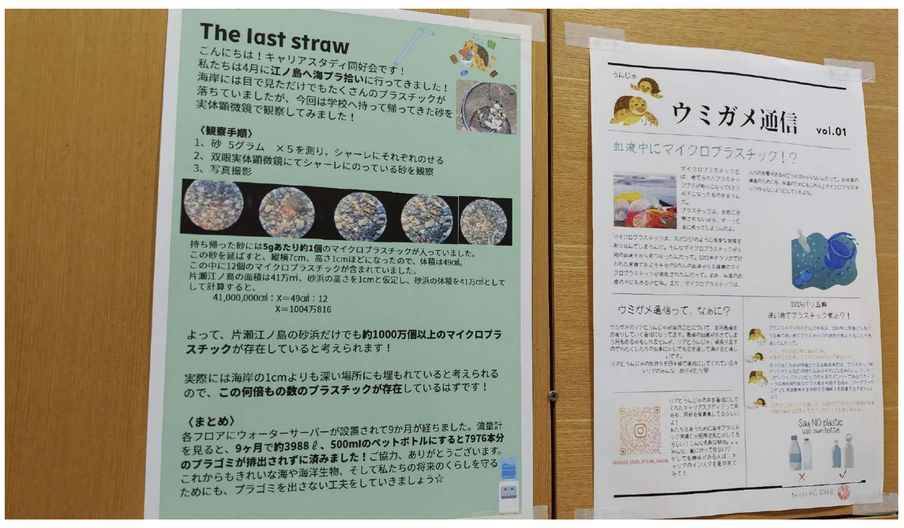
・わくわくワークショップ
近隣の小学生を対象に実施している校内ワークショップにブース参加
海洋プラスチック問題についてクイズを実施
プラスチックゴミをアップサイクルしたアクセサリーを制作
親子でプラスチック問題について考えてもらうきっかけ作り

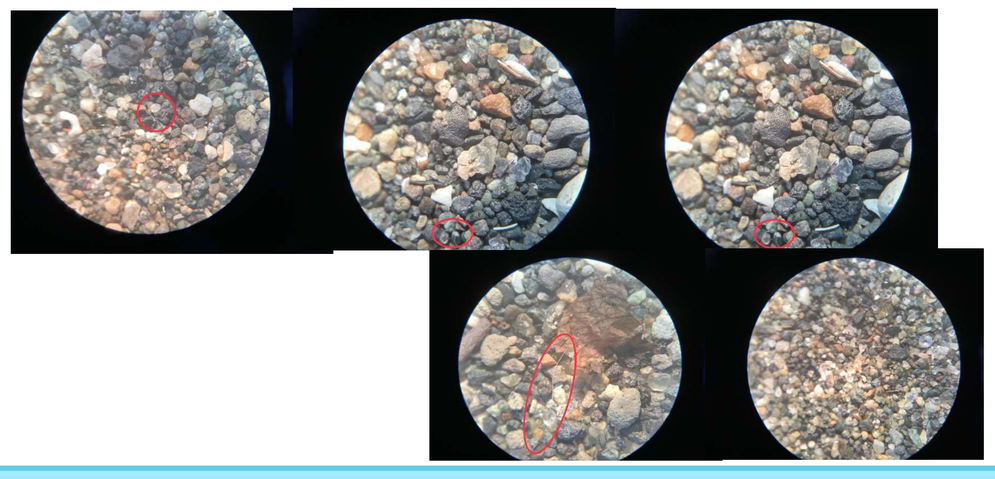
The last straw

「我慢の限界」を意味するThe Last Strawを合言葉に、今使うプラスチックストローが最後のストローになって欲しいという願いから、この活動が始まりました

〈給食ストロー廃止週間〉
中学生の給食で出される牛乳用プラスチックストローは本当に必要なのか、全校生徒で考えてもらうため、ストローを使わずに飲んでみる期間を設定
↓
〈マイボトル週間〉
校内から排出されるプラゴミ削減のため、給食を食べない高校生にはマイボトルを持参してもらうことでプラゴミについて考えてもらう期間を設定
↓
〈酪農業組合を訪問〉
生産者の声を聞くため、私たちの学校の給食牛乳を生産している酪農業組合を訪問。調べたことや活動内容について伝え、ご意見や、課題を伺った。
↓
〈映画を上映〉
アメリカの子どもたちの活動をまとめた映画を視聴し、監督との座談会を経て、学校全体に向けて上映会を企画・運営。監督との座談会の様子を紹介し、海洋プラスチック問題について考えてもらうきっかけとした。
↓
〈エコバック制作〉
ビニール袋の利用削減のために、布製のマイバック作成を企画。実施にあたっては、マイバック利用を促進するため、全校生徒からデザインを募集。
↓
〈ウォーターサーバー設置〉
校内から出るペットボトルゴミ・ゼロを目指し、全校生徒へのアンケートや先生方へのプレゼンを繰り返した。2年かけて学校にも賛同してもらい、昨年9月、遂に３台のウォーターサーバーの設置が実現。
↓
〈地域へ〉Now
ウォーターサーバー設置により、校内から排出されるペットボトルゴミは大幅に削減。しかしゼロではないので、今後も全校への呼びかけは継続していき行きたい。また、近隣の公共施設などへも設置を呼び掛けていきたい。

「SDGs14 を知ってもらおう」





私たちキャリアスタディ同好会は砂浜に落ちているマイクロプラスチック調査をするために江ノ島に行ってきました。
江ノ島でマイクロプラスチックを回収し、持って帰ってきた砂を実体顕微鏡で確認し，江ノ島にはどのくらいのマイクロプラスチックが落ちているのか調べました。
調査をしたところ片瀬江ノ島だけの砂浜でも約1000万個以上のマイクロプラスチックが存在していると分かりました。

私たちはこの調査を色々な人たちに知ってもらいたいと考え，調査内容をまとめ校内にポスター掲載をしました。ウォーターサーバーを設置してから約9ヶ月が経った為、設置してからどのくらいウォーターサーバーが使われたのか、プラスチックゴミがどのくらい減ったのかも同様のポスターに掲載しました。

そして、そもそも何故キャリアスタディ同好会がこのようにプラスチックゴミを減らそうとしているのか、プラスチックの何が問題なのか知ってもらったり興味を持ってもらうためにウミガメ通信という海洋プラスチック問題をテーマとしたポスター掲示も始めました。

これからも継続してこのようなポスターを掲載していき、少しでも色々な人に私たち市民が何を出来るのか、何が問題でその問題にどう向き合っていくのか知って貰えるよう活動を取り組んでいきたいと考えています。また私たちの海洋プラスチック問題への取り組みの目標はペットボトル排出ゼロを目指しているため，その目標についても知ってもらい，全校生徒と共に目標を達成していくため，これからも活動を続けていきたいと思っています。

ウォーターサーバーを広めよう！

学校にウォーターサーバーを設置したことで設置前は約550本捨てられていたペットボトルが設置後は100本以下に減らすことができました。目標だった200～300本を超える数字を出すことができました。また、ウォーターサーバーを設置した2024年9月～2025年5月までの9ヶ月で約3988リットル（500mlペットボトル7976本分）のウォーターサーバー水が使われ、ここからも全校生徒にウォーターサーバーがたくさん使われていることがわかります。

ペットボトルの本数が減り、海洋プラスチックの削減に少しでも貢献できたので、もっとたくさんの海洋プラスチックを減らすために、私たちが通う大妻嵐山高校がある嵐山町の役場や武蔵嵐山駅、図書館にウォーターサーバーを設置することを呼びかけています。嵐山町民や周りの市町村の人が多く利用する公共施設に設置すれば、マイボトルを持ち歩く動きも広がると考えます。

海洋プラスチックをゼロにすることはもう無理かもしれません。しかし、海洋汚染を防ぐことはできます。ひとりひとりがプラスチックごみを減らす意識をしたり、マイボトルを持参したりするなど、できることはたくさんあります。私たちの活動はあまり大きなことはできませんが、小さなことからコツコツしていくことでたくさんの人に知ってもらい、大きな力にし、海洋プラスチックをさらに削減できるように頑張っています。

キャリアスタディ同好会

SDGsや児童労働問題、国際交流を中心に興味のあることを探求する同好会です！児童労働問題の解決を目指している「スマイルカカオプロジェクト」を行っている有楽製菓に訪問し、児童労働をしていない農園のカカオを使っているブラックサンダーを文化祭で売ったり、海にマイクロプラスチック調査をしに行ったりしました。片瀬江ノ島海岸でのマイクロプラスチック調査では、目視でもわかるほどの大きさのプラスチックがたくさんあり、さらに海洋プラスチックを減らせるように活動を頑張っていきたいと思いました。また、私たちは小学生や中学生に向けて海やSDGs、海洋プラスチックが及ぼす影響などを知ってもらう、わくわくワークショップも行っています。この活動を通して、少しでもプラスチックの使用を減らしてもらえると良いなと思っています。世界で起こっていることを解決したり、少しでも良い方向に行けるよう、力になれるような活動をしています。